

福島市総合計画 第4期実施計画

～「元気あふれる福島市の新ステージ」の具現化に向けた3つの政策～

第4期実施計画：311事業 約895億円

(※平成31年度から平成32年度(2ヶ年))

総合計画を推進するとともに、将来に向けて夢が持てる新しい福島の創生を確実に具現化するため、「ひと・暮らしいきいきふくしま」、「産業・まちに活力ふくしま」、「風格ある県都ふくしま」の3つの政策目標を掲げ、「元気あふれる福島市の新ステージ」を目指します。

◆目的

実施計画は「福島市総合計画 後期基本計画」に基づいて実施する施策や事業の実現に向けて、その執行計画を明らかにし、より効果的な計画行政を推進するものです。

◆計画の期間と範囲

平成31年度～平成32年度までの2ヶ年です。
実施計画はハード整備などの投資的事業や重要度の高いソフト事業を対象とし、社会保障制度をはじめとした扶助費などの義務的経費や施設の維持修繕費などの経常的経費は対象外としています。



ひと・暮らしいきいきふくしま 【128事業 約590億円】

子どもたちに係る環境の充実をはじめ、市民の健康づくりや高齢者の元気づくり、市民生活の安全安心の確保などを推進します。



～主な事業～

- ◎待機児童対策緊急パッケージ事業
- ◎子ども医療費助成事業
- ◎子ども家庭総合支援拠点事業
- ◎認知症高齢者支援事業
- ◎健都ふくしま創造事業
- ◎手話言語条例の推進事業
- ◎ICT教育フューチャービジョン推進事業
- ◎小中学校等施設耐震化・トイレ洋式化推進事業
- ◎消防救急デジタル無線システム更新整備事業



産業・まちに活力ふくしま 【134事業 約145億円】

産業・観光の振興をはじめ、農業の再生に取り組み、まちのにぎわいと活力を生み出すとともに、東京2020オリンピック・パラリンピックを契機としたまちづくりのグレードアップと遺産(レガシー)の創出などを推進します。



～主な事業～

- ◎新工業団地整備事業
- ◎地域振興施設(道の駅)整備事業
- ◎新規就農者の確保と育成事業
- ◎気候変動に対応した農業対策事業
- ◎東北六市連携事業
- ◎インバウンド推進事業
- ◎福島駅西口周辺バリアフリー整備事業
- ◎東京2020オリンピック・パラリンピック推進事業



風格ある県都ふくしま 【49事業 約160億円】

「風格ある県都を目指すまちづくり構想」に基づき、中心市街地と公共施設の再編整備を進めるとともに、広域連携の推進、歴史・文化と次世代環境が調和したまちづくり、移住・定住を推進します。



～主な事業～

- ◎風格ある県都を目指すまちづくり事業
- ◎福島駅東口地区市街地再開発事業
- ◎福島圏域連携強化推進事業
- ◎福島圏域合同移住セミナー実施事業
- ◎新浜町地区優良再開発型優良建築物等整備事業
- ◎UIターン移住支援事業
- ◎古閑裕而音楽祭事業
- ◎水素社会実現推進事業
- ◎新最終処分場建設事業



◆今後の主な取り組み

平成32年度までの実施計画に掲載している3つの政策目標の主な事業は左記のとおりです。
喫緊の課題である待機児童対策をはじめ、高齢者支援施策の充実、地域経済の活性化などの取り組みを引き続き進めます。

今後においては、「風格ある県都を目指すまちづくり構想」の実現に向けて、施設整備(福島駅前交流・集客拠点施設、市役所新庁舎西棟、図書館)の検討を進めるとともに、福島駅東口地区市街地再開発へ支援するなど、大規模な事業が見込まれています。

これらを推進するために、ひとり改善運動等を通じて職員の意識改革と能力向上を図りつつ、新システムの導入により市民サービスの向上、コスト縮減、事務の効率化及びスピードアップを図っていきます。



◆財源の見通し

第4期実施計画と整合を図りながら、現行制度や消費税率引上げなどを考慮して平成35年度までの5ヶ年(中期の財政収支)試算しました。

その結果、現段階では各年度に財源不足が生じますが、財政調整基金(※)などを活用することにより、実施計画期間内の各種事業に必要な財源を確保できる見通しとなりました。

しかし、中期的な見通しでは、平成35年度には財源の確保が困難な状況となり、今後、事業費の抑制や既存事業の見直しに取り組むとともに、自主財源の確保に努めるなど、中長期的な視野に立った健全な財政運営が必要となります。

※事業執行で財源が不足する場合に、その財源不足を調整する(埋める)ために積み立てているお金。

